

日時 令和4年2月9日(水) 14:30～15:40

場所 鹿児島市立図書館 2階 AVホール

出席者 図書館協議会委員8名、事務局6名

【会次第】

- 1 開会
- 2 図書館長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 令和3年度の主な活動報告について
 - (2) 令和3年度利用者アンケート調査結果について(報告)
 - (3) 鹿児島市立天文館図書館について(報告)
 - (4) 図書館資料収集方針・基準の見直しについて(報告)
 - (5) 鹿児島市図書館基本的運営方針について
 - ① SDGsとの関連について
 - ② 指標・目標値について
- 4 閉会

【議事概要】

(1) 令和3年度の主な活動報告について

委員

電子図書館サービスを利用してみたが、1冊につき1人しか読めないようになっているのは、著作権の関係などで決められているのか。

事務局

書籍の出版社が1冊につき1人という決まりで提供している。書籍によっては、1冊につき複数人読めるようになっているものもあるようだが、市立図書館が購入した書籍は1冊につき1人しかご覧いただけないようになっている。

委員

すごい予約人数だったので、電子で提供されるなら複数人で読めたら便利だなと思った。

委員

法務局との連携は面白い取り組みだと思う。来年度以降も様子を見て継続する考えがあるのか。

事務局

講座の受講者から挙がる声などを参考に、法務局の方と協議しながら、実施可能な取り組みについては来年度以降も継続したいと思う。

委員

社会福祉法が改正された2000年頃、高齢者介護の講座を図書館などで実施してほしいという声が挙がっていたので、毎年でなくてもこのような企画を検討してみてもいいのでは。

事務局

今回の遺言書の企画以外でも、制度改正のタイミングに合わせて様々な企画を検討してまいりたい。

委員

大学との協働・連携によるものなのかわからないが、YAコーナーの本が若い世代の興味を引くような選書に変わっていてよかった。天文館図書館でも若い世代との連携を図っていけたらよいと思う。

委員

コロナ禍においては、来館して利用者カードを作成するよりもカードに代わるものをインターネット上で作成できたらよいのでは。

事務局

枚方市で電子申請の取り組みを行っているということだったので、今後も情報収集に努めてまいりたい。

(2) 令和3年度利用者アンケート調査結果について（報告）

委員

アンケートに寄せられた「英語絵本が増えてほしい」というご意見については、英語の早期教育の動きがあるなかで、鹿児島の子どもたちのためにも重要なものだと感じた。

事務局

以前、他都市の図書館を見学した際に、児童コーナーにある多言語本の充実に感銘を受け、当館においても充実を図りたいと考えていたので、このようなご意見も参考にしてみたい。

委員

開館時間の延長についてのご意見が多く寄せられているようだが、予算が伴うものであり、本館ですぐ対応することは難しいと思う。土日祝については、天文館図書館が本館より遅くまで開館しているということなので、利用者の方にそのような広報を行うことが重要であると思う。

事務局

平日は天文館図書館より本館の方が遅くまで開館しているが、天文館図書館は年中無休であり、本館が休館の日も開いているので、利用者の方にそのようなご案内も行ってまいりたい。

本館の開館時間延長については、「平日21時まで開館していなくてもよい」というご意見も寄せられており、予算を伴うものであるので、慎重に見極めてまいりたい。

(3) 鹿児島市立天文館図書館について（報告）

委員

オミクロン株が3月にピークアウトすることを想定した話にはなるが、図書館協議会委員で天文館図書館の開館前に内覧させてもらいたい。

事務局

図書館協議会委員の皆様の内覧いただく機会を設けたいと考えており、時期等について改めて相談させていただきたい。

委員

指定管理者に鹿児島県内の業者から応募はなかったのか。

事務局

募集にあたっては、図書館運営の実績を必ずしも求めていなかったが、鹿児島県内の業者は説明会への参加はあったものの応募はなかったところである。

(4) 図書館資料収集方針・基準の見直しについて（報告）

委員

マンガ資料は市立図書館では取り扱いがないのか。

事務局

全く取り扱っていないわけではない。

委員

資料4(11)①の「主として天文館図書館で所蔵」という括弧書きは「(11)マンガ資料（主として天文館図書館で所蔵）」とした方が分かりやすいのではないかと。

委員

「(11)マンガ資料（主として天文館図書館で所蔵）」とすることについては、再度検討した方が良いと思う。

事務局

ご意見を参考に公表までに整理したい。

委員

鹿児島市図書館資料収集方針の定義（鹿児島市図書館は、鹿児島市立図書館、鹿児島市立天文館図書館、移動図書館、公民館図書室をいう）についての記載がないので、法務部門と協議してみてもどうか。

委員

マンガは個人の嗜好もあり、「一定の評価」といっても一概に言えない。専門的な内容をマンガにしたものなどが個人的にはいいのではないかと。

市立図書館と県立図書館で棲み分けがあるのかもしれないが、市立図書館では専門書を収集しないと

聞いたことがある。高価なもので個人ではなかなか購入できないので、内容によっては収集してもよいのではないか。

事務局

資料収集方針のなかで、専門書についても収集すると記載しているので、内容によっては専門書もこれまで以上に選書していこうと課内で共通理解を図ったところである。

委員

マンガ資料の「利用者からのリクエストには対応しない」という表記については、「対応については十分検討する」などのやわらかい表現にしてはどうか。

委員

利用者からのリクエストに対応していたら收拾がつかなくなるという懸念があるのかもしれないが、「リクエストには対応しない」という表現については再度検討してみてもは。

事務局

マンガ資料に限らず、利用者からの要望を聞きながら、対応をしていくことが重要なのだと思う。

事務局

その場では対応できなくても今後の参考にさせていただくことがあると思うので、「対応しない」という表現については再度検討してまいりたい。

委員

図書館の蔵書は市民がつくっていくものだと思う。

委員

資料の範囲はある程度規定してあるので「所蔵していない資料への利用者からのリクエストには対応しない」という表記は削除してはどうか。

利用者からのリクエストについては、今後検討するというような対応でいいのかもしれない。

委員

限られた予算のなかで購入する前提になっているので、「所蔵していない資料への利用者からのリクエストには対応しない」という表記は削除してもいいと思う。

(5) 鹿児島市図書館基本的運営方針について

① SDGs との関連について

② 指標・目標値について

委員

SDGs ターゲット 16. 10 「情報への公共アクセスを確保する」という文言は、図書館宣言にある公共図書館の機能と合致するものであり、削除しなくてもよいと思う。

委員

教育委員会に属する公共図書館なので、ターゲット4「質の高い教育をみんなに」を目標のメインに掲げながら、図書館の機能であるターゲット16.10についても、関連項目として残してよいと思う。

事務局

SDGsは人類共通の目標であり、抽象的なレベルでいえば全て関連付けられると思うので、積極的に関連項目から落とす必要はないと私も考えている。

事務局

市で再検討し、整ったらお届けしたい。

委員

目標値は妥当な数字だと思う。

委員

目標値達成に向けて頑張ってもらいたい。

委員

SDGsとの関連については、ターゲット4・11・17に16を加え、項目間に優劣がないという認識でよろしいか。

事務局

そのとおりである。

終了